

第101期 中間株主通信

2022年4月1日 ▶ 2022年9月30日



Evolution for Customers

— 全進で未来へ"シンカ" —

株主の皆様には日頃より当社へのご支援を賜りまして、心よりお礼申し上げます。

さて、先日、中間決算の発表をいたしました。株主の皆様には当社の状況、そして今後の見通し等を詳細にお伝えできればと思います。ご一読いただけますようよろしくお願い申し上げます。

株式会社ヒガシトゥエンティワン

取締役 代表執行役社長 児島 一裕

Q1 2023年3月期第2四半期の業績についてどのように評価されていますか。

当第2四半期の業績は、「中期経営計画2023」達成に向けた業容拡大を着実に進めるとともに、経費節減、業務効率の向上を目指した取組みについても成果を上げることができました。その結果、売上高は163億円（前年同期比31.0%増）、経常利益は9.6億円（同17.8%増）と、ともに前年同期を上回り過去最高を更新しました。

増収の要因としては、2021年10月にスタートしたインフラ会社向け資材調達3PL事業が上乘せされたこと、当期首から連結対象となった山神運輸工業において付加価値の高いエンジニアリング事業の業務受託量が増えたこと、オフィスサービス事業が進展したことなどが挙げられます。

【中期経営計画2023（21/3～23/3月期）の進捗状況について】

続いて、今期で最終年度を迎える「中期経営計画2023」の当第2四半期における売上高等の進捗状況についてご説明します。当社では人・倉庫・マテハン（ベルトコンベアや梱包機器など）・車両・システムを最適に組み合わせる物流設計力を基盤に、今後大き

な成長が見込める「3PL事業」「オフィスサービス事業」「ビルデリバリー事業」、そして成長速度を加速させるための「M&A」を重点事業として位置付けています。

—「3PL事業」

長年の輸送・庫内作業の実績・ノウハウと800社超の協力会社を持つ強みを武器に企業物流を一括して受託する「3PL事業」では、インフラ会社向け資材調達3PL事業の開始などにより、売上高は40億円（前年同期比161.5%増）となりました。

—「オフィスサービス事業」

認証・追跡システムを活用した万全のセキュリティを強みに事務所移転・引越などを請け負う「オフィスサービス事業」では、事務所移転需要の増加に伴い事業が進展し、売上高は23億54百万円（同17.5%増）となりました。

—「ビルデリバリー事業」

独自のエレベーター・荷捌駐車場管理システムなどを活用し、ビル内の配送を効率化する「ビルデリバリー事業」では、コロナ禍の影響を受けテナント企業のオフィス出社率が低下し、取次物流量が減ったものの、メール室・総務代行業務が伸び、売上高は8億49百万円（同10.5%増）となりました。

—「M&A」

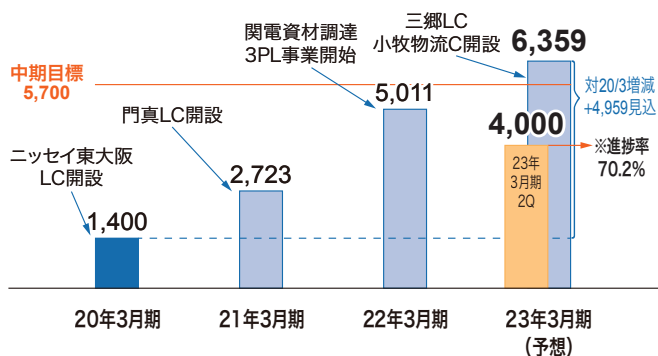
2022年2月には、重量物輸送・エンジニアリング事業に強みを持つ山神運輸工業をグループ会社化しました。また8月には、ITシステムに関する技術サポート全般に強みを持つ旅人が新たにグループに加わりました。

今後も相乗効果が見込める企業とのM&Aを積極的に進めていきます。

重点事業領域の進捗状況 ※進捗率は中期目標に対する2023年3月期2Q実績の割合で算定しております。

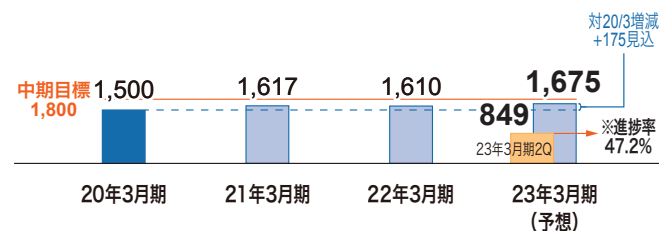
3PL事業

積極的な業容拡大により、中期目標達成見込み (単位：百万円)



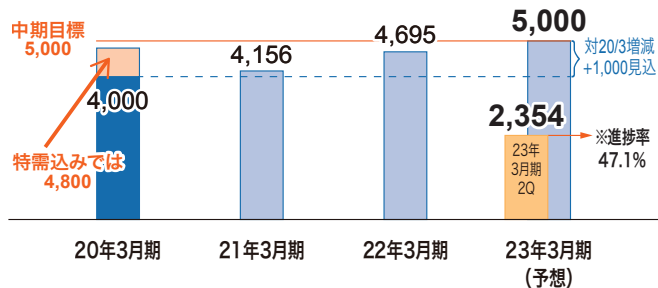
ビルデリバリー事業

コロナ禍の人流抑制による影響を強く受け、中期目標の達成には、更なる進展が必要 (単位：百万円)



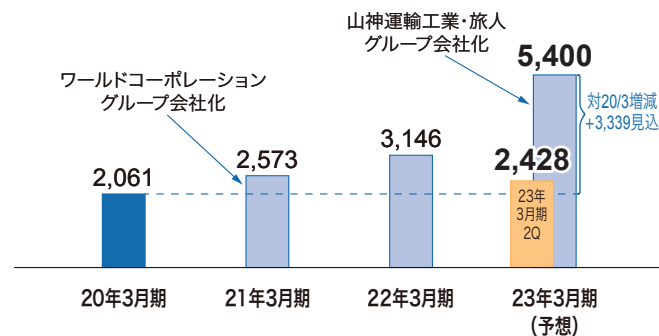
オフィスサービス事業

主に業容拡大により、中期目標達成見込み (単位：百万円)



M&A

グループの総合力を高めるべくM&A戦略を加速 (単位：百万円)



※基幹事業に含まれるM&Aによる売上高は、重点事業売上高(M&A)として扱います。

Q2 今期の業績見通しについて教えてください。

今後の成長に向け下半期に必要な投資を実施する予定ですが、重点事業領域を中心に売上・利益共に引続き堅調な推移を見込んでおり、過去最高の売上・利益を達成する見通しです。

2023年3月期第2四半期の業績発表に合わせ、通期の業績予想を上方修正しました。

売上高については330億円（前年同期比18.1%増）、営業利益17.8億円（同20.7%増）、経常利益18.5億円（同10.8%増）、親会社株主に帰属する当期純利益11.7億円（同4.5%増）と予想しています。

2023年4～5月に予定している北大阪ロジスティクスセンターを

はじめとする大型物流センターの開設に関わる初期投資費用や、中長期的に成長をけん引する重点事業領域への人材投資などの費用がかさみますが、第3四半期以降についても当第2四半期までと同様、事業が堅調に推移し、売上・利益ともに予算を超過することが見込めることから上方修正を行いました。売上・利益ともに過去最高を達成する見通しです。

(百万円)



| | 2023年3月期連結業績予想 | | 【ご参考】 2022年3月期実績 |
|---------------------|----------------|--------|---------------------|
| | 金額 | 前期比 | 金額 |
| 売上高 | 33,000 | 18.1%増 | 27,953 |
| 営業利益 | 1,780 | 20.7%増 | 1,475 |
| 経常利益 | 1,850 | 10.8%増 | 1,670 |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | 1,170 | 4.5%増 | 1,120 |
| 1株当たり 当期純利益 (円) | 88.91 | — | 85.92 |

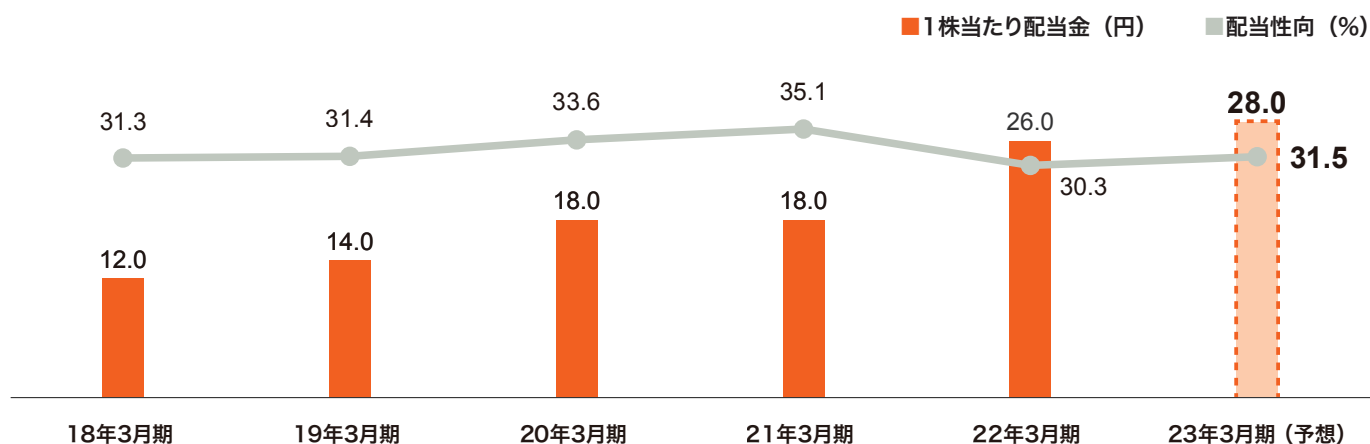
Q3 株主還元の方針についてお聞かせください。

業績の上方修正に合わせ、期末配当を前回予想の26円からさらに2円積み増し、28円とさせていただきます。

当社は、株主の皆様への還元方針として、長期的発展の礎となる財務体質の強化と、安定配当の維持を基本としつつ、成長により獲得した利益を、連結配当性向30%以上を目安に還元することを掲げています。

当初中期経営計画最終年度の目標として1株当たり20円の配当予想を掲げていましたが、今般の業績予想の上方修正に合わせ、期末配当を本年度の当初予想26円からさらに2円積み増し、28円とさせていただきます。

1株当たり配当金・配当性向の推移



Q4 ESGに関する取組みについて、直近のトピックスを教えてください。

当社は、「安全と安心を大切にして、物流事業を通じ社会に奉仕する」という経営基本方針のもと、ESGに関する取組みに力を入れています。CSR活動では、やさしい気持ちで子どもたちの未来を応援したいという思いを「ひまわりプロジェクト」と名付け、取組みを行っています。トピックスとして、「ひまわりプロジェクト」取組みの一環で行った「こどもミュージアムプロジェクト」の取組みをご紹介します。

一般社団法人こどもミュージアムプロジェクト協会が行っている「こどもミュージアムプロジェクト」は、子どもたちが描いた絵をトラックにラッピングすることにより、ドライバーや、それを見た周りの方に「やさしい気持ち」を広げることで交通事故の撲滅、危険運転ゼロにつなげようという活動です。当社グループではこの活動に共感し、取組みに参画しています。

この取組みの一環として、子どもたちから「交通安全」に関する絵画を募集する「交通安全絵画コンテスト」を毎年行っています。本年度は8・9月に絵画を募集し、グループ会社に加えパートナー会社様にも参加を呼びかけた結果、過去最多となる121作品が集まりました。入賞作品はラッピングトラックやお客様に配布するカレンダーに活用していきます。

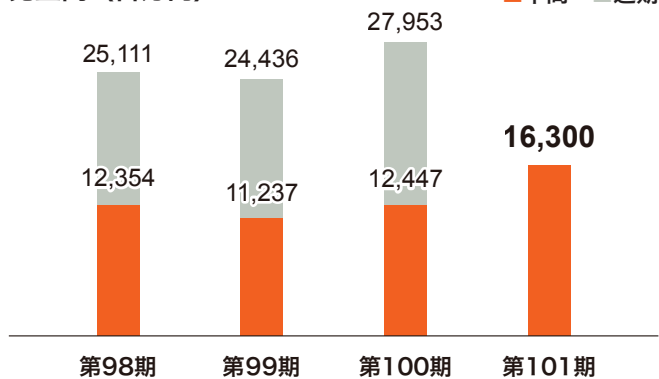
また、コロナ禍の影響を受け2年間中止となっていたプロジェクト啓発イベント「こどもミュージアムフェスタ（2022.9.11開催）」へ協賛企業として参加し、ラッピングトラックの展示協力やブース出店を行いました。当社ブースへの来場者は1千人を超えるなど、大盛況のイベントとなりました。私自身も従業員とともに参加し、交通安全の大切さを子どもたちに呼びかける良い機会となりました。当社では、こうした取組みにグループ社員がボランティアとして参加することで、社会問題に目を向けること、さらには当事者意識を持って行動することを大切にしています。

今後も事業の成長を目指しつつ、持続可能な社会の実現に向けたESGに関する取組みにも注力し、さらなる企業価値の向上に努めていきます。

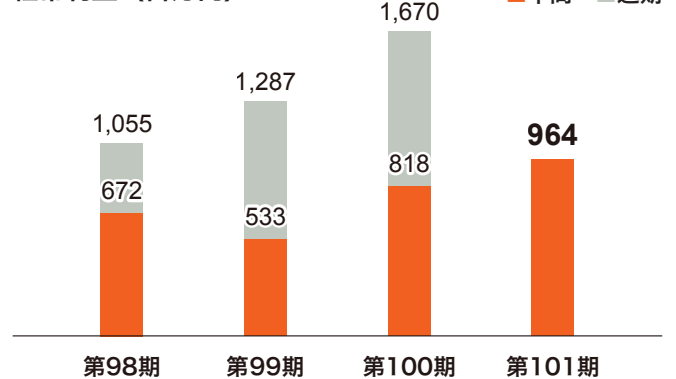


決算ハイライト

売上高（百万円）

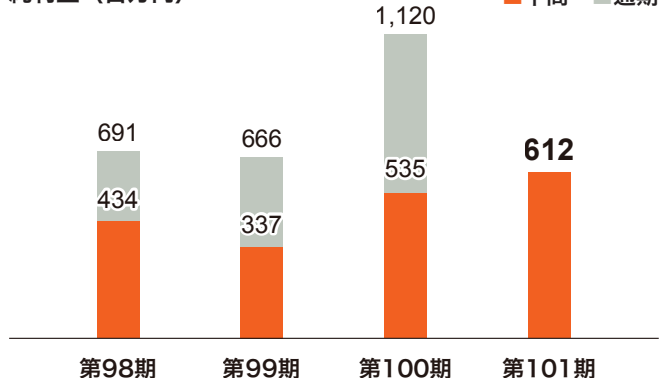


経常利益（百万円）

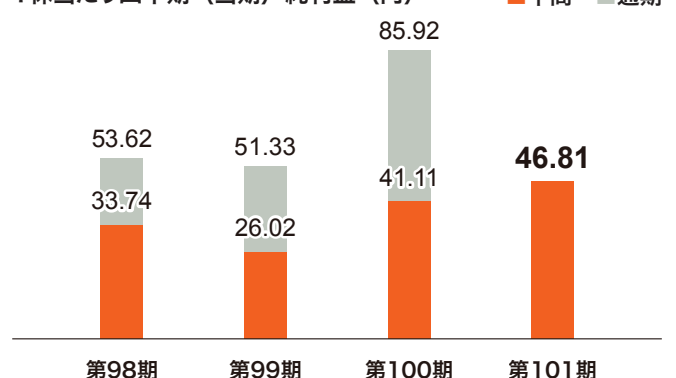


親会社株主に帰属する四半期（当期）

純利益（百万円）



1株当たり四半期（当期）純利益（円）



（注）記載金額は、百万円未満切り捨てて表示しております。

事業の概況

セグメント情報

■ その他事業

122百万円 **0.7%**

■ ウェルフェア事業

481百万円 **3.0%**

■ 商品販売事業

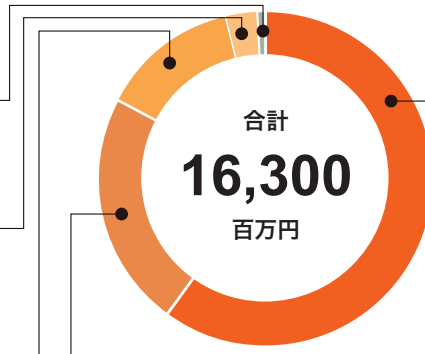
2,207百万円 **13.5%**

■ 運送事業

9,780百万円 **60.0%**

■ 倉庫事業

3,708百万円 **22.8%**



運送事業

当事業につきましては、売上高は97億80百万円（前年同期比20.5%増）となり、セグメント利益は10億48百万円（同30.0%増）となりました。これは主に、山神運輸工業株式会社を新規連結、事務所移転作業が増加したことによるものです。

売上高（百万円）

■ 中間 ■ 通期

17,234

8,114

前年同期比
+20.5%



第100期

9,780

第101期

セグメント利益（百万円）

■ 中間 ■ 通期

1,797

806

前年同期比
+30.0%



第100期

1,048

第101期

倉庫事業

当事業につきましては、売上高は37億8百万円（前年同期比5.9%増）となり、セグメント利益は5億29百万円（同10.8%減）となりました。これは主に、三郷ロジスティクスセンターを2022年4月より開設したことにより売上が増加したものの、株式会社イシカワコーポレーションの決算期を12月期から3月期に変更し、前期は同社の繁忙期となる1月～3月を連結対象期間にしたことが影響し、減益となっております。

売上高（百万円）

■ 中間 ■ 通期

7,404

3,501

前年同期比
+5.9%



第100期

3,708

第101期

セグメント利益（百万円）

■ 中間 ■ 通期

1,118

593

前年同期比
-10.8%



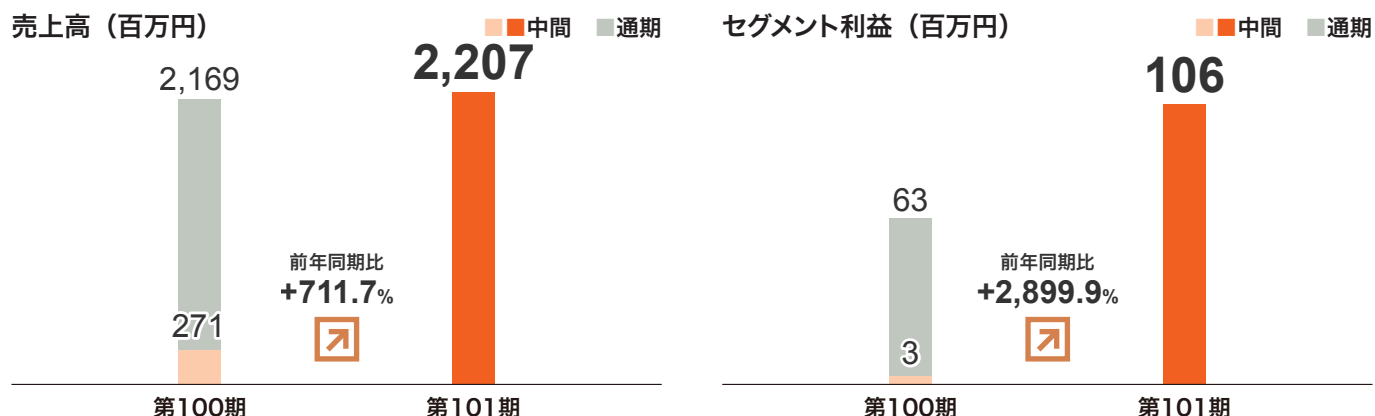
第100期

529

第101期

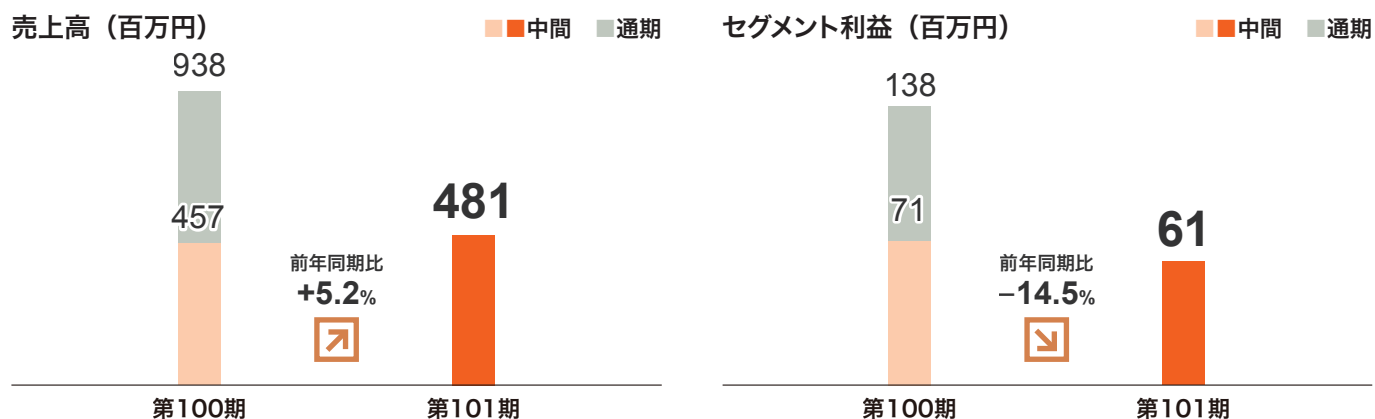
商品販売事業

当事業につきましては、売上高は22億7百万円（前年同期比711.7%増）となり、セグメント利益は1億6百万円（同2,899.9%増）となりました。これは主に、2021年10月より資材販売業務を開始したことによるものです。



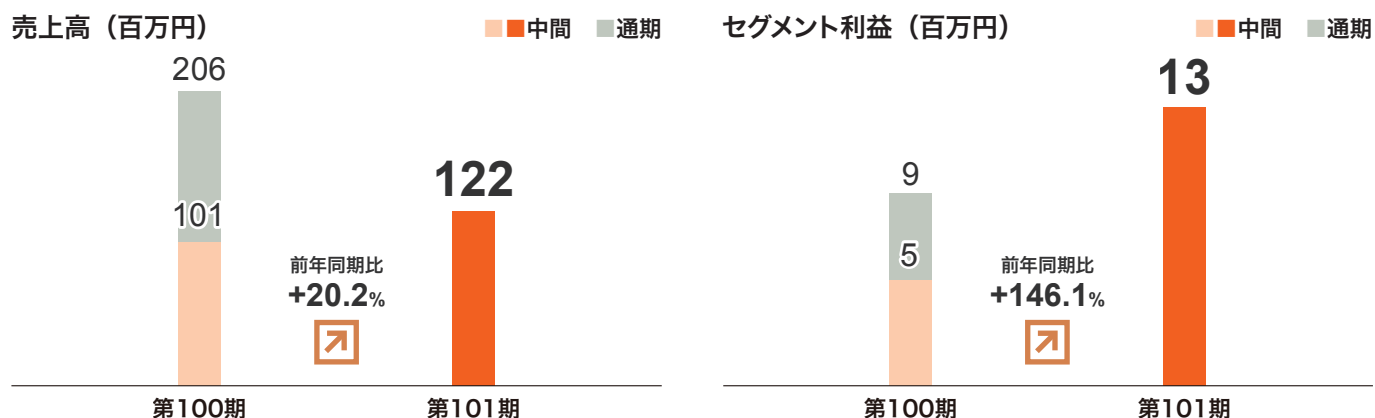
ウエルフェア事業

当事業につきましては、売上高は4億81百万円（前年同期比5.2%増）となり、セグメント利益は61百万円（同14.5%減）となりました。これは、福祉用具の新規貸出しが伸長したことにより売上が増加したものの、事業基盤を強化するため営業人員を増加させたことや、貸出用介護用品を先行仕入したこと等により、セグメント利益が減少したことによるものです。



その他事業

当事業につきましては、売上高は1億22百万円（前年同期比20.2%増）となり、セグメント利益は13百万円（同146.1%増）となりました。これは主に、インフラ会社向けの物流コンサルティング業務を受託したことによるものです。



TOPICS



TOPICS 1 ▶ 小牧物流センターを開設しました

大手工作機械メーカーの3PL業務の新規受託に伴い、2022年5月愛知県小牧市に「小牧物流センター」を開設しました。当センターは、野村不動産が運営する物流施設「Landport小牧」内に位置し、小牧ICまで約5kmと名古屋中心部までのアクセスにも便利な立地です。グループ長期経営ビジョン「VISION2030」の目標達成に向け、積極的な設備投資と更なる事業拡大を進めてまいります。

▶センターの概要

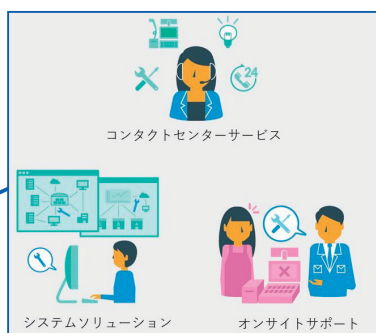


| | |
|-------|--|
| 所在地 | 愛知県小牧市本庄178-1 →東名高速道路「小牧IC」から約4.6km 「春日井IC」から約7.8km →名鉄小牧線「味岡」駅より徒歩約15分 |
| 構造・規模 | 倉庫部分4階建てのうち3・4階部分 |
| 延床面積 | 約8,200㎡（約2,500坪） |
| 取扱品目 | 精密機器のパーツ等 |

TOPICS 2 ▶ 株式会社旅人がグループ会社となりました

2022年8月に株式会社旅人（東京都千代田区）をグループ会社化しました。

当社グループでは更なる事業成長に向けて、シナジー効果を見込める企業とのM&Aを今後も積極的に検討してまいります。



▶株式会社旅人の事業

POS端末等のシステム機器の設置・保守・ヘルプデスク対応や、ITエンジニアの人材派遣など、ITシステムに関する技術サポート全般を展開しております。

▶主なシナジー効果

- ・グループでのIT人材の共同採用や派遣先の相互紹介などを通じた事業拡大
- ・（旅人）ヒガシ21グループの顧客基盤への取引拡大
- ・（ヒガシ21グループ）ITサービス事業の作業能力（品質・作業量・対応エリア）の強化やサービスラインアップの一層の充実

TOPICS 3 ▶ 「ISMS認証」を取得しました

2022年9月当社NH事業部において、「ISMS認証」を取得いたしました。ISMSとは、Information Security Management System（情報セキュリティマネジメントシステム）の略で、情報の「機密性」、「完全性」、「可用性」を保護するための体系的な仕組みのことを指します。今回取得した認証は、組織の情報セキュリティのための仕組みが国際規格に適合していることを証明する制度で、ISO/IEC27001国際規格に沿って、情報セキュリティを確保するための仕組みをもち、その仕組みを維持し継続的に改善していることが、ISMS認証機関により認められたものです。

当社グループでは、引き続き安全で高品質なサービス提供に向けた取組みを検討してまいります。



JQA-IM1931
NH事業部NH営業室



倉庫外観



作業エリア

TOPICS 4 ▶ CO2削減電力プラン（グリーン電力）を導入しました

当社多久ロジネットセンターにおいて、九州電力株式会社の提供する「CO2削減電力プラン」（グリーン電力）を導入しました。2022年4月から当センターの電気使用によるCO2排出量が実質ゼロとなり、2021年度対比年間約111tのCO2を削減できることとなります。※1

今回導入したCO2削減電力プランでは、「非化石証書（再エネ指定なし）」※2を使用して、実質CO2フリーの価値を付された電気を受給することにより、CO2排出量実質ゼロを実現しています。

当社グループでは引き続き、環境負荷軽減に関する取組みを積極的に行ってまいります。



倉庫外観

※1 CO2排出量は2021年度の電力使用実績に基づき算定しております。

※2 再生可能エネルギーや原子力発電など、非化石電源と言われるCO2排出の少ない電源の非化石価値（環境価値）を証書化したもの。

会社概要・株式の状況



会社概要 (2022年9月30日現在)

| | |
|------------|---|
| 社名 | 株式会社ヒガシトゥエンティワン HIGASHI TWENTY ONE CO.,LTD. |
| 設立 | 1944年12月 |
| 本社 | 大阪市中央区内久宝寺町三丁目1番9号 〒540-0013 TEL06 (6945) 5611 (代) |
| 東京本社 | 東京都港区新橋一丁目18番16号日本生命新橋ビル9階 〒105-0004 TEL03 (6455) 7021 |
| 資本金 | 10億円 |
| 主なグループ事業内容 | サードパーティ・ロジスティクス (3PL) 事業、輸送事業、倉庫保管事業、ドキュメントサービス事業、物流加工事業、事務所移転引越事業、IT関連事業、ビル内デリバリー事業、介護福祉関連事業、駐車場運営事業、オフィス関連サービス事業、機密文書リサイクル事業、産業廃棄物管理事業、人材派遣事業 |
| 従業員数 | 連結従業員数1,362名 (単体従業員数560名) |
| グループ会社 | ユートランスシステム株式会社 株式会社イシカワコーポレーション 株式会社FMサポート21 株式会社トランスポート21 株式会社ワールドコーポレーション ヒガシオフィスサービス株式会社 山神運輸工業株式会社 株式会社旅人 |

役員 (2022年9月30日現在)

| 取締役 | | | | 執行役 | | | |
|-----|-------|-------|-------|-------|-------|---------|--------------------|
| 取締役 | 児島 一裕 | 社外取締役 | 江上 雅彦 | 社外取締役 | 勝田 達規 | 代表執行役社長 | 児島 一裕 [※] |
| 取締役 | 山田 寛 | 社外取締役 | 樋口 真人 | 社外取締役 | 丸山 雅也 | 常務執行役 | 山田 寛 [※] |
| 取締役 | 田口 宗勝 | 社外取締役 | 大西 由紀 | | | 常務執行役 | 田口 宗勝 [※] |
| 取締役 | 原田 昌也 | 社外取締役 | 脇 陽子 | | | 常務執行役 | 原田 昌也 [※] |

※は取締役を兼務しております。

執行役員 (2022年9月30日現在)

| | | | | | |
|------|-------|------|-------|------|-------|
| 執行役員 | 外園 千尋 | 執行役員 | 氏郷 敏章 | 執行役員 | 新井 慶景 |
| 執行役員 | 吉原 永詞 | 執行役員 | 山川 圭洋 | 執行役員 | 窪田 一夫 |
| 執行役員 | 角野 公史 | 執行役員 | 井上 和大 | 執行役員 | 日吉 晋介 |

株式の状況

| | |
|--------------------------------|-------------|
| 発行可能株式総数 | 40,000,000株 |
| 発行済株式の総数 (自己株式142,925株を除く。) | 13,121,075株 |
| 株主数 | 4,475名 |

配当の状況

| | |
|------|------------|
| 中間配当 | 行っていません。 |
| 期末配当 | 1株28円 (予定) |

*現在、配当の決定は通期の業績を踏まえて実施しているため、年1回の期末配当としております。

大株主

| 株主名 | 持株数(千株) | 持株比率(%) |
|--|---------|---------|
| 関西電力株式会社 | 1,800 | 13.7 |
| 日本生命保険相互会社 | 1,040 | 7.9 |
| 星光ビル管理株式会社 | 938 | 7.2 |
| 株式会社毎日新聞社 | 700 | 5.3 |
| ヒガシトゥエンティワン従業員持株会 | 620 | 4.7 |
| 東京センチュリー株式会社 | 540 | 4.1 |
| 株式会社西日本シティ銀行 | 520 | 4.0 |
| 株式会社三菱UFJ銀行 | 364 | 2.8 |
| STATE STREET BANK AND TRUST CLIENT OMNIBUS ACCOUNT OM02 505002 | 257 | 2.0 |
| 金森滋美 | 201 | 1.5 |

(注) 持株数は、千株未満を切り捨て、持株比率は小数点第2位を四捨五入して表示しております。

株主メモ

| | |
|------------------------|---|
| 事業年度 | 4月1日～翌年3月31日 |
| 期末配当金受領株主確定日 | 3月31日 |
| 中間配当金受領株主確定日 | 9月30日 |
| 定時株主総会 | 毎年6月 |
| 株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 |
| 同連絡先 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL0120-094-777 (通話料無料) |
| 上場証券取引所 | 東京証券取引所 スタandard市場 |
| 公告の方法 | 電子公告により行う。公告掲載URL https://www.e-higashi.co.jp (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、毎日新聞に公告いたします。) |

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



ホームページのご案内

当社をよりご理解いただくためにも、是非ご覧ください。

<https://www.e-higashi.co.jp> ヒガシ21 検索

公式SNSはじめました!



facebook



Instagram



ヒガシ21

ヒガシ21



当社は、2006年5月25日付で、プライバシーマーク付与に関する認定を受けました。



当社は、9営業所で安全性優良事業所として認定を受けております。Gマークは優良事業所のみにも与えられる「安全」・「安心」・「信頼」の証です。

トゥエンティワン

株式会社ヒガシ21